

科目名	熱・流体システム先端演習
英文名	Selected Topics of Heat and Fluid System
学部学科	先端科学技術研究科 機械システム工学専攻
配当学年	1・2・3年次
開講時期	通年
単位数	4.0
必選区分	選択
担当者名	高橋 直也

目的概要	熱および流体现象に流体现象には様々な長さ・時間スケールでの渦の発生、変形、相互作用や消滅が運動を支配する。この解析には、昨今のコンピュータ能力の著しい発達によって数値シミュレーションの有用性が増してきている。本講義では、渦の動力学に注目し、数値シミュレーション技術を交えつつ、最近の話題を詳細に解説する。
教科書名	授業中に随時指示する。
参考書名	Davidson, P.A., Turbulence, Oxford Univ. Press, 乱流力学, 木田・柳瀬 著, 朝倉書店
評価方法	課題レポートにて判断する。
テーマ・内容	第1回 はじめに: さまざまなスケールの渦運動 第2回 流体運動の記述: 基礎方程式について 第3回 流体運動の記述: 乱流とその形成 第4回 乱流の統計力学: 一様乱流とその振舞い 第5回 乱流の統計力学: 統計性質 第6回 乱流の統計力学: 乱流による輸送 第7回 渦の構造: 渦の表現 第8回 渦の構造: 渦の動力学 第9回 渦の構造: 一様乱流における渦構造 第10回 渦の構造: 一様でない乱流における渦構造 第11回 乱流の数値シミュレーション: 渦粘性 第12回 乱流の数値シミュレーション: ラージエディンシミュレーション 第13回 乱流の数値シミュレーション: レイノルズ平均モデル 第14回 乱流の数値シミュレーション: 直接数値シミュレーション 第15回 まとめ
E-Mail address	n.takahashi_at_mail.dendai.ac.jp (at を@にかえること)
履修上の注意事項・学習上の助言	興味をもった流体现象を、流体力学を通して理解しましょう。